

# カトリック六甲教会 教会報

2006

12  
No.420

## 12月の予定

		教会暦	教会行事
1	金		初金 7:00 10:00 ミサ 婦人会例会
2	土		10:00 祈りの道場(ザビエルハウス) 15:00 ミサ(六甲教会)
3	日	待降節第1主日 宣教地司祭育成の日	13:00 結婚セミナー・クリスマス会
7	木	聖アンブロジーノ司教教会博士	
8	金	無原罪の聖マリア(六甲教会の守護者)	7:00 10:00 ミサ 婦人会の黙想会
10	日	待降節第2主日	10:15 小教区評議会 14:00 メサイヤコンサート 17:00 主日の集会祭儀(海星病院)
13	水	聖ルチアおとめ殉教者	
14	木	聖ヨハネ(十字架の)司祭教会博士	
15	金		10:00 共同体の祈り(回心の集い) 17:00 神戸市民クリスマス(神戸聖ミカエル教会)
16	土		14:00 教会学校 終業式・クリスマス会
17	日	待降節第3主日	13:00 中高生会クリスマスコンサート 17:00 主日の集会祭儀(海星病院)
24	日	待降節第4主日 クリスマス・イブ	17:00 (子供と共に) 19:00 21:00 ミサ 17:00 ミサ(海星病院聖堂)
25	月	主の降誕	7:00 10:00 ミサ
26	火	聖ステファノ殉教者	
27	水	聖ヨハネ使徒福音記者	
28	木	幼子殉教者	
29	金	主の降誕第5日	
30	土	主の降誕第6日	
31	日	聖家族	24:00 新年のミサ

## み心のままに迎える

今年の夏、休暇をとって故郷に帰りました。シカゴに着いて、「ただいま」という言葉が心にうかんで来ました。兄弟たちに歓迎されて、とても嬉しく思いました。家族や懐かしい人々に会いに行くのは嬉しいことです。しかし、心厚く歓迎されることはもっと嬉しいことです。故郷では、兄弟たちが本当に良くしてくれました。

そして、9月初めに日本に帰って来ました。ふたたび心に「ただいま」という言葉がうかんで来ました。しかし、もっと嬉しかったことは、みなさまに「お帰りなさい。」と声をかけられたことです。ここでも、心厚く歓迎されたと感じました。

今年も待降節を迎え、ご降誕の準備に入ります。この準備は2000年以上前

の救い主の誕生を記念するためだけのものではありません。イエスさまがいつも私たちと共におられ、様々な日々の出来事を通して、私たちのところにおいでになることを思い出すことです。また、イエス様が最後の日に全てを完成するために再びお越しになることを思い出すことです。

聖書のことばを思い起こしてください。「あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。」(ルカ 12:40)

待降節の間に、この偉大な神秘をより深く心の中に刻んで、信仰生活を向上させるように努めましょう。イエスさまがみなさま一人一人の歓迎を待っておられます。祈りを通して、また1日に起こるできごとや人との出会いによって、イエスさまを歓迎することを、より深く意識することができます。イエスさまが望んでおられるのは、ただ純粋な心で歓迎されることなのです。豪華なクリスマスの飾りやプレゼントに食事、そのようなクリスマスの祝い方はイエスさまを歓迎し

ているとは言えません。私たちは頂いた恵みを活かして、その信じる心を磨いて、真心をこめて、イエスさまをもっと歓迎していきましょう。

もう一つの素晴らしい歓迎の方法は、ゆるしの秘跡をうけることです。私たちは人間の弱さで様々なことにとらわれています。それはイエスさまの歓迎を妨げています。ゆるしの秘跡を通して、誠実な糾明のもとで罪を告白して、ゆるしを受ければ、より豊かにイエスさまを歓迎することになります。

イエスさまはいつも私たちの心の扉を叩いておられます。待降節は心の扉を開け放してイエスさまをありのままに受け入れましょう。そうすれば本物のクリスマスのお祝いになります。自分の都合によってではなく、相手の事情を認め、その人の立場になって歓迎することが大切です。自分の思いを優先させるのではなく、み心のままに、イエスさまをお迎えしましょう。

ジョン・オマリー神父

---

---

## 各 部 会 だ よ り

### 👉 壮年会

#### 1 男の料理教室

12/20(水) 10:00 から

#### 2 黙想会報告

11月26日(日)、午後1時半からザビエルハウスで壮年会の黙想会が開かれました。バレンタイン神父様の指導で2回の講話をはさんで各自黙想にふけりました。お話はマタイの冒頭の第1章、2章で、ヨゼフの困惑、ヘロデの猜疑をとりあげて、さまざまな人間の愛、寛容、弱さなどの問題を投げかけられました。また衣食住、友人、所得、環境、時間など身近な事柄十項目にわたって、それらへの人間の価値判断について神は何を聴こうとしているか、という問いかけを紹介して下さいました。懇親会は神戸

ハーバーランドから遊覧船コンチェルトに乗り込み、同伴の家族・友人の方々も一緒にナイトクルーズを楽しみました。雨がそぼ降る一日でしたが、待降節を控えて意義ある黙想会でした。

### 👉 婦人会

#### 1 例会のお知らせ

日時：12月1日(金) 初金ミサ後

お話：磯部和子様「聞こえない人とかかわって」

カレー当番：東4・5・西1

よろしく願い致します。

#### 2 黙想会

日 時：12月8日(金) 11:15~14:30

ご指導：オマリー神父様

会 費：500円(昼食代)

### 3 12月の聖堂掃除当番

1日(金)西3・4・5

8日(金)中1・2

15日(金)中3・4

22日(金)中5・東1

29日(金)東2・3

いずれも午前9時からです。

バザーのお手伝いありがとうございました。

### 🙌三日月会

12月の例会はお休みです。

### 🙌青年会

#### <定例会>

12/10(日)12:30~14:00 第3会議室

聖書を読んで分かち合い

初めての方もお気軽にご参加下さい!

今月は第4日曜日の定例会はありません。

### 🙌典礼部

#### 1、クリスマス・新年の典礼当番

当番表を聖堂入口に掲載しますので、奉仕者の方はご確認ください。

#### 2、<11/12侍者会>報告

・朗読と侍者の練習 参加者9名

・朗読奉仕にあたっている時には、自分が朗読

する聖書の箇所を必ず前もって声を出して読む練習をするよう、また、自分で音読するだけでなく、できればお家の方に朗読を聞いてもらうよう指導した。

・侍者の奉仕については、経験者はミサの順序等よくわかっているはずなので、自信を持って奉仕できるよう伸ばしてやりたい。また、子供達にミサの準備まで徹底させることを実現するには時間がかかるが、努力目標としていきたい。

・子供達が奉仕者としての役目を果たすためには、家庭の協力も必要であると感じたことから、ご父兄にお家での朗読の事前練習に協力していただくこと、ミサ15分前(奉仕者の祈り開始までに)集合に協力していただくこと、特に侍者は着替え等準備があるので遅くともミサ25分前集合にさせていただくことを依頼した。

### 🙌社会活動部

12/1(金)13:00~ 社会活動部連絡会

於:第2会議室

初金ミサ及び婦人会例会後に始めます。バザーの反省会他討議事項がたくさんあります。各グループの代表者(又は代理の方)は、必ずご出席をお願い致します。奉仕活動に興味をお持ちの方も是非覗いて見て下さい。

### <越年越冬活動へのお誘い>

神戸の冬を支える会主催

今年も12月28日から1月5日の期間、東遊園地(神戸市役所南側)において、恒例の越年越冬活動が予定されています。今回のカトリックの担当日は、

1月1日(月)、5日(金)

となっています。お正月ではありますが、お子さんも一緒に参加なさってみませんか?親子で共有できる良い体験になることと思います。多くの方のご協力をお願い致します。

(社会活動部)

時間等につきましては、ポスター・週報をご参照下さい。

## <お 知 ら せ>

このコーナーでは所属部会の枠を超えて、みなさまに広くお知らせしたい事項を掲載しています。教会の掲示板にも同様のお知らせが多数ありますので、あわせてお読みください。

### 【養成部より】

**第2回祈りの道場** 12月2日(土)10:00~15:00(15:00~ミサ)

指 導：英 隆一朗神父様

場 所：ザビエルハウス

### 【婦人会より】

**聖堂のお花当番募集**

お花を生けて下さる方、準備をしてお下さる方を募集します。

聖堂入口の申し込み用紙にご記入の上、箱にお入れ下さい。

### 【社会活動部より】

12/6(水) 10:00~ **手芸の集い** (於:第1,2会議室)

年内最後の集いです。手作りの好きな方ご参加下さい。

12/9(土) **炊き出しはお休みです。**

今回の当番日は、他の会が担当されますのでお休みです。

次回担当が当りました折には、多くの方のご協力を宜しく御願ひ致します。

12/17(日) 10:00~ **手作りコーナー** (於:イグナチオホール)

毎回好評の手作り弁当ほか食品、小物などの販売を致します。是非お立ち寄りの上、お買い求め下さい。ご協力を御願ひ致します。

12/22(金) 14:00~ **おにぎり作り** (於:教会台所)

須磨方面夜回り支援の為に作ります。ご協力を御願ひ致します。

社会活動部は皆様方のご協力で成り立っています。皆様のご協力なしには何も出来ません。ほんの少しだけでも、お時間・タレントをご提供下さいませんか?ご参加を心待ちに致しております。

### 【広報部より】

今年もクリスマス特別号ができました。クリスマス特別号は、まだ神さまをご存じない方に、クリスマスをきっかけに、キリスト教や教会のことを知っていただくことを目的としています。

クリスマスカードやクリスマスプレゼントに添えて、ぜひ多くの友人・知人の方にお渡しください。聖堂入り口にたくさん用意しておりますので、ご遠慮なくお取りください。また、いろいろな集まりなどでまとめてご入用の方は、準備いたしますので、受付へご伝言ください。

# FOR YOU

～手をとりあって～



## 「あなたは、わたしの心を愛の矢で貫かれました」

天気だけはどうすることも出来ませんでした。“晴れ男”を自称している小生が実行委員長を務める限り絶対に天気になるとの確信に似た気持ちを傲慢にも持っておりましたが、本番は生憎の肌寒い雨天。災害心理学で「正常化の偏見」と呼ばれる現象があるそうですが、「私だけは大丈夫」と勝手に判断してしまう思い込みに似たもので、大いに反省しています。

前日に雨が予想された為、室内で実行することになり、客の入り具合を心配しましたが、婦人会、社会活動部、みさご、青年会、教会学校、中高生会、図書部、壮年会その他信徒が中心となり、チャリティーという目標に向かい正に六甲教会一丸となった目を見張る奉仕活動により大きな成果を上げることが出来ました。バザーを終わり、参加者の身心に亘る努力と献身の心に頭の下がる思いを痛感しました。聖アウグスティヌスが、信仰に目覚めた時に、放蕩に身を任せた過去を後悔し、神に対し「あなたは、わたしの心を愛の矢で貫かれました」と云ったという信仰の目覚めの気持ちを抱いたのは小生だけではないと思います。

今回の収益は、特に我々が期待する若者たち中高生会勢の昨年比26%増、昔の青年みさごの皆さんの古着販売19%増と新旧青年層の活躍は特筆すべきものでした。

最後に、今回のバザーを準備していただいた全信徒、各部会および参加していただいた近隣の皆様にこの紙面をかりて心より御礼申し上げたいと思います。また、例年のことですが、全てにわたり大きなバックボーンとして支えていただいている婦人会には頭が下がります。本当にありがとうございました。

2006年度バザー実行委員会委員長  
船井

**最高っ！**  
まどか(9才)、なつみ(9才)、なぎ(9才)  
～みんなでワイワイお食事中～



**屋内で、かえって密度の濃いバザー  
になりました。雨もお恵みです！**  
(評議会議長 鈴木)



**例年通り、盛況ですよ。**  
(古本市)

**天候のわりには、大勢来  
られて、大成功ですね。**  
(安芸神父)

**お汁粉甘くて、あったまります。  
ケーキもおいしいですよ。  
サービス満点！ 曇天を跳ね返し、  
活気づいてGOOD！！**  
(大石、中川、宗保)  
～喫茶ルームにて～



みなさんのパワーに負けない  
よう、キャンディーレイをつ  
けて、はり切ってます！

(桜井神父)



バザー初めて。楽しい~(^o^)/  
ゆりこ(8才)、えりか(8才)  
~綿菓子なめながら~

素敵なネックレスをたったの20円  
でGET! やったね(^\_^)v

えこ(38才)

~満面の笑みで~



売れてますよ!

(釜が崎こどもの里)



焼き鳥おいしいよ。

しゅん(5才)

~焼き鳥ほおばりなか  
ら、お父さんと~



**(養成部報告)**

**公開講座「エゼキエルの預言」**

**神の厳しさと慈しみ**

10月21・22日、上智大学教授雨宮慧神父様による「エゼキエルの預言」の公開講座が行われました。

三大預言書中、私たちにとって最も難解で馴染みの薄いこの書についての系統的な講義を聴く機会は恐らく非常に少ないと思われます。その意味でも大変に貴重な機会でありました。

正直に言って、講座を聴く前と聴いた後でこれほど印象が変わった預言書はありませんでした。この書から、神の激しさや厳しさしか読み取れなかった私たちにとって、先生の講座は衝撃的でした。

人を愛するが故に厳しい神の姿、裁きの根底にある真の慈しみについて先生は丁寧かつ平易に解き明かしてくださいました。裁きと救いとを切り離して考えてはならない。聖書に自分たちの思いを語らせてはならない。神の想いが響いてくるように読むこと。聖書を読む上でこれらの注意点がいかに大切か、この書はよく教えてくれました。「エゼキエルの預言」は、聖書の読み方を学ぶ上でわたしたちに本当に多くのことを教えてくれた預言書でありました。

**[ 哲学入門 ] 連続講義**

英知大学教授・奥村和滋先生を講師に迎えての第2回哲学入門講座が10月28日に行われ、テーマは「認識の哲学 ~ 無知と悪との関係 ~」でありました。真理を求めて深く考えるためには、まず正しい認識が必要であるという視点から学びました。土曜日午前のザビエルハウスには少し年老いた「学生」たちの生き生きとした顔が並び、熱心にノートをとる姿がみられました。最初肩を怒らせていた私たちも哲学の何たるかを少しずつ理解しはじめ、先生の大変にわかりやすい解説もあって講義中は笑いが絶えませんでした。

哲学とは深く考えること、それはまさに使徒パウロの祈り「知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように」(フィリピ 1・9-10a, 今月10日の第二朗読)に他ならないことを強く感じるようになりました。

次回第4回は来年1月27日、タイトルは関係の哲学A ~ 愛とうらみの人間論 ~ です。途中から聴かれる方も、その分かりやすさ、楽しさにびっくりされることと思います。奮ってご参加ください。

(養成部 山本)

~~~~~・~~~~~・~~~~~

**(典礼部報告)**

**「2006年10月聖体奉仕者の集い」に参加して**

私は、聖体奉仕者として、教会学校の関係から、当初から今まで参加させて戴いています。現在、教会学校のお手伝いもしていないので、少し聖体奉仕をすることが重荷に感じていたので、今日の集いにも少し気乗りがしませんでした。その為、アンケートの中で今後継続するかどうかの項目に大変迷いました。ただ辞退の理由(仕事・健康・家庭 etc.)が無いのと、日頃の考えとして自分に出来ることは時間の許す限り参加させて戴くと考えているので、継続と記入したのです。

でも、今日の集まりの中でオマリー神父様のお話しされた「弟子の足を洗うイエス」を聞き、自分



の判断は間違っていないのかなと思いました。私は信じています、「私に出来ることはある」と。そんな大袈裟なものではないと思っています。ほんの少し、イエス様を思う心があれば。私たちは待っています、一人でも多くの仲間を。色々な活動をしている人が求めています、「あなた」を。どうか応えてください、「YES(はい)」と。これは喜びです。色々な奉仕活動の中で、どこかで会えることを、新しい仲間に出会えることを楽しみにしています。教会のおっちゃん 中村でした。

~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~

## (地区会報告)

### 東灘区9地区集会(10月27日)

このたびは、6月に予定していた集会が中止になりましたので、1年ぶりの集まりでした。初参加の方は家庭でのミサを大変喜んで下さいました。ミサ後の話題はもっぱら、今の日本の心貧しい政治や教育や社会が生み出した様々なできごとに集中し、考えさせられることがいっぱいでした。

他には今後の集会で自分達でできることの具体的な提案も頂きました。私達の集まりは少しずつ合わせの段階がすみ、これからは信徒相互の親睦、助け合いを第一にと考えています。その為の下支えになることを工夫しつつ、皆様と協力して楽しくやっていきたいと望んでいます。集会にまだ参加しておられない方々、いつでも、いつからでも、大歓迎です。集いの終りにお越し下さったバレンタイン神父様への感謝と、この小さな共同体への祝福を願う祈りのひとときをもって散会致しました。

(沖)

## CD紹介

---

渡辺和子 講話「愛をこめて生きる」

ユーキャン出版局

シスター渡辺和子さんのわかりやすい優しい口調で、全12巻、計720分のCDに収録されています。

「どう生きるか」という私たち誰しもが、日々繰り返し問いかけているテーマをめぐって、どのようにして愛をこめて生きるかを語りかけておられます。

心に響いた箇所をとりあげてみますと、「いきいきといきていくには、大変なエネルギーが必要であるので、生きることを助ける言葉が大切」、「本当の優しさは、相手の心に寄り添うこと」、「ナンバーワンよりオンリーワン」、「運命は冷たいけれども摂理は暖かい」、「祈りというのは、自分自身の心を変えるもの」、「愛とは意志の行為であり人のぬくもりを伝える大切さ」などです。最後に「感謝と祈りをこめて」と

ころでは、心の中に「聖所」を育てなさいと結ばれています。

目に見えるものに心を奪われ、不安になっている私たちに、目には見えない魂のもっとも深い部分を育てる大切さを語り掛けておられるように思います。また、今日次々と起こる社会問題も、私たちの子供時代にはあった社会のバランスが大きく崩れ、効率のみを追い求める価値観に私たち自身が染められてきた結果であることに気付かせてくれます。(山縣)

## クリスマス・チャリティ - コンサートのご案内

日 時： 12月3日(日) 14:00~16:30

場 所： 神戸中央教会聖堂

入場料： 無料 (カンパ箱あり)

社会活動神戸センターと須磨夜回り会の支援のために、シナピス神戸の主催にて催されます。それぞれの活動を一人でも多くの方に知って頂く機会の提供と、活動支援ができればとの思いで企画されました。入場は無料で、カンパ箱が用意されます。

神戸地区・阪神地区6教会のグループと、兵庫教会のFr.吉岡が出演されます。

六甲教会からは、中高生会のリーダー達(浅野さん、久保さん、窪岡さん、三澤さん、前田さん)5人のグループ“ディーン&デルーカ”が演奏して下さいます。進行役は村田さんが引き受けて下さり、六甲教会の青年達が6人も、若い力を一杯に出して下さいる事になりました。

この若者達の姿勢に応えるためにも、また、それぞれの活動を知る機会のためにも、ぜひ多くの方々のご協力をお願い致します。友人知人をお誘いの上、多数お出かけ下さい。詳細は聖堂入り口に掲示しておりますので、ご確認下さい。

(社会活動部 志水)

教会報月1月号の発行は、12月31日(日)です。

編集会議は12月24日(日)です。

記事原稿は、12月17日(日)正午までに信徒会館事務室へご提出願います。(広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会

〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21

電 話 0 7 8 - 8 5 1 - 2 8 4 6

発行責任者 桜 井 彦 孝 神 父

編 集 広 報 部